

# 平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況

平成 15 年 8 月 7 日

上場会社名 デジタルアーツ株式会社

コード番号：2326 大証（ヘラクレス市場）

（URL <http://www.daj.co.jp/>）

代 表 者 代表取締役社長 道具 登志夫

問合せ先責任者 取締役管理本部長 後藤 茂

（TEL：(03) 5485 1340）

## 1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- (1) 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : 中間財務諸表等規則
- (2) 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
- (3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
- (4) 公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

## 2 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日）

### (1) 経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	147	49.0	18	-	18	-	6	-
15 年 3 月期第 1 四半期	98	-	37	-	37	-	23	-
(参考)15 年 3 月期	681		49		5		5	

	1 株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16 年 3 月期第 1 四半期	466	30	-	-
15 年 3 月期第 1 四半期	1,861	09	-	-
(参考)15 年 3 月期	438	53	-	-

### (2) 事業部門別の売上高内訳

	セキュリティ事業		インフォメーション事業		その他の事業		合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	100	44.5	26	2.0	20	468.1	147	49.0
15 年 3 月期第 1 四半期	69	-	25	-	3	-	98	-
(参考)15 年 3 月期	552		107		21		681	

- (注)
- 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
  - 2. パーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
  - 3. 当第 1 四半期、前第 1 四半期及び前期に係る潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、当期（四半期）純損失が計上されているため記載しておりません。
  - 4. 前第 1 四半期の 1 株当たり当期純利益については、平成 14 年 8 月 8 日の株式分割について遡及修正を行っております。

## 1) 全体概況

当第1四半期（平成15年4月1日～平成15年6月30日）の当社事業は、厳しい国内経済環境下においても、企業における情報漏洩やトラブル対策、学校や家庭におけるインターネット上の問題あるサイト等へのアクセスの制限に対する関心が継続して高まり、需要の拡大傾向が強まりました。

当第1四半期における全体の売上高は当社計画を上回る前年同期比49.0%増の147,366千円となりました。一方、当第1四半期において全社的な経費の削減を推進し、販売費及び一般管理費が102,917千円と固定費の削減が計画以上に効果を発揮し、営業損失は前年同期より52.4%改善し18,066千円、経常損失は前年同期より52.6%改善し18,003千円と当初の計画以上の結果となりました。

従来まで当社は、売上高が第2四半期及び第4四半期に集中する傾向がありましたが、後述の通り企業向け製品の販売が拡大してきたため、年間を通して安定的な売上を計上できる基盤が確立されつつあります。また、利益創出体質への取り組み効果が現れてきており、引き続き利益確保に取り組んでまいります。

## 2) 事業別概況

### セキュリティ事業

当社の中心であるセキュリティ事業で、当期（平成15年4月1日～平成16年3月31日）は主力であるWebフィルタリングソフトの販売において、特に企業向けへの販売数の拡大を最重要戦略と位置付け、当第1四半期においても前期（平成14年4月1日～平成15年3月31日）と同様にパートナーセールスを基軸として販売を進めてまいりました。この結果、本戦略通り企業向け製品は非常に好調な伸びを示し、当事業の売上構成比の58.8%を占めるにまで順調に成長いたしました。こうしたことにより、当セキュリティ事業の売上高は、前年同期比44.5%増の100,627千円となり前年同期を大きく上回りました。セキュリティ事業におけるマーケット別製品の状況は以下の通りです。

### a) ビジネス向け製品

前期から強力に推進しはじめた企業向けWebフィルタリングソフトである「i-フィルター Business Edition」の販売拡大が当期の最重要事項であります。当第1四半期においては、当社戦略に基づき企業向け販売に徹底注力したことにより、順調に販売数を拡大し、セキュリティ事業における売上貢献度の向上もさることながら、Webフィルタリングの全体売上に対しても、売上構成比率は65.1%を占めるまでになりました。この結果ビジネス向け製品の売上高は、前年同期比190.8%増の59,134千円となりました。

次四半期（平成15年7月1日～平成15年9月30日）以降も継続して、当期の重点策であるパートナープログラムおよびサポート体制の強化による販売パートナーとの連携を強め、売上拡大を推進してまいります。

### b) 公共向け製品（旧スクール向け製品）

前期後半から見られた学校向けIT関連機器への予算投資の停滞傾向が当第1四半期にも継続し、当第1四半期におけるスクール向け製品の販売は、当社の見込み通り前年同期を下回り前年同期比67.2%減の12,417千円に留まりました。しかしながら一方で、販売の好転が見込まれる次四半期への案件準備期間としての活動は順調に進みました。更にこれまでのスクールマーケットにおいて入札形態が学校単位から地域単位へ変化していく事への対応として、大手通信系及び大手流通系パートナーの開拓も進み、準備は当第1四半期内でほぼ完了いたしました。こうしたことにより次四半期以降において、当社が計画する公共向け製品では、当初の計画通り前期同等の売上を獲得できる見込みであります。

### c) コンシューマ向け製品

Webフィルタリングソフト「i-フィルター Personal Edition」が、昨年末のNEC製、ソニー製の家庭向けパソコンへの標準搭載に続き、富士通製の家庭向けパソコン「FMV-DESKPOWER」「FMV-BIBLO」の2003年5月発売モデルにも標準搭載されました。ソフトウェアの使用は1ヶ月の無料利用期間後、有料になります。新たに発売される家庭向けパソコンでは、国内のパソコン出荷台数シェアで5割以上を占めるNEC、富士通、ソニーの3社に採用され、標準搭載されたこととなります。

また、ISP（インターネットサービスプロバイダ）向けのWebフィルタリングサービス「Active Rating System」、Webフィルタリングソフト「i-フィルター Active Edition」がNECのインターネットサービス「BIGLOBE」に採用され、ASPサービスとして会員様向けに提供を開始することが決定いたしました。これらコンシューマ向けのWebフィルタリングソフトの販売が順調に推移したことで、売上高は前年同期比154.5%増の29,074千円となりました。次四半期以降もISPとのアライアンスを急速に推進していくことや、パッケージ、ダウンロード販売の拡販により、コンシューママーケットにおけるシェア拡大と売上増を目指して邁進してまいります。

### インフォメーション事業

インフォメーション事業につきましては、企業向けに販売をおこなっている情報収集サービス「NET iScope」がリスクマネジメントツールとしての利用もさることながらIR、PR、マーケティングツール等としての活用も進み、前年同期との比較で、契約件数は10件増加し、売上高は前年同期比2.0%増の26,191千円と計画通りの推移となりました。また、次四半期以降は、さらに販売パートナーの拡大にも努めていきたいと考えております。

### その他の事業

その他の事業においてもWebフィルタリング以外のソフトの売上が伸び、前年同期比468.1%増の売上高20,547千円と当社の計画を上回る結果となりました。

### (3)財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	1,037	968	93.4	66,735 20
15年3月期第1四半期	875	808	92.4	64,646 19
(参考)15年3月期	1,102	975	88.5	67,201 51

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。  
2. 前第1四半期の1株当たり株主資本については、平成14年8月8日の株式分割について遡及修正を行っております。

### 【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	60	39	-	447
15年3月期第1四半期	4	181	-	378
(参考)15年3月期	8	76	140	426

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### [財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における現金及び現金同等物は、前期末に比べ20百万円増加し、当第1四半期末には447百万円となりました。

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは60,692千円の収入となり、財務活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得により39,784千円の支出となっております。なお、当第1四半期における財務活動はありません。

3 平成16年3月期の業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	417	40	19	1,309 44
通期	950	201	110	7,580 98

平成16年3月期の業績予想としまして、中間期では売上高417百万円（前年同期比13.9%増）経常利益40百万円（前年同期比11.1%減）当期純利益19百万円（前年同期比20.8%減）通期では売上高950百万円（前年同期比39.3%増）経常利益201百万円（前年同期比-）当期純利益110百万円（前年同期比-）を計画しております。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4 四半期財務諸表等

(1) 第1四半期貸借対照表

(単位：千円)

科目	当 第 1 四 半 期 会 計 期 間 末		前 第 1 四 半 期 会 計 期 間 末		前 事 業 年 度 の 要 約 貸 借 対 照 表	
	(平成15年6月30日現在)		(平成14年6月30日現在)		(平成15年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
1. 現金及び預金	447,666		378,282		426,758	
2. 受取手形	9,142		81,398		5,795	
3. 売掛金	112,279		125,210		234,699	
4. たな卸資産	151,636		58,177		151,385	
5. 繰延税金資産	58,248		78,174		55,440	
6. その他	17,030		10,041		14,789	
流動資産合計	796,002	76.7	731,284	83.6	888,867	80.7
固定資産						
1. 有形固定資産	34,821	3.4	30,911	3.5	34,624	3.1
2. 無形固定資産						
(1) ソフトウェア	66,381		60,311		75,724	
(2) ソフトウェア仮勘定	84,474		-		48,871	
(3) その他	3,955		2,124		4,062	
無形固定資産合計	154,811	14.9	62,436	7.1	128,658	11.7
3. 投資その他の合計	51,604	5.0	50,600	5.8	49,889	4.5
固定資産合計	241,237	23.3	143,949	16.4	213,172	19.3
資産合計	1,037,240	100.0	875,233	100.0	1,102,040	100.0

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

2. 前第一四半期のソフトウェア仮勘定については、ソフトウェア勘定に含めて表示しております。

(単位：千円)

科目	当 第 1 四 半 期 会 計 期 間 末		前 第 1 四 半 期 会 計 期 間 末		前 事 業 年 度 の 要 約 貸 借 対 照 表	
	(平成15年6月30日現在)		(平成14年6月30日現在)		(平成15年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負債の部)		%		%		%
流動負債						
1. 買掛金	643		2,247		70,449	
2. 賞与引当金	3,901		4,046		14,900	
3. その他	64,367		60,215		41,597	
流動負債合計	68,912	6.6	66,509	7.6	126,946	11.5
負債合計	68,912	6.6	66,509	7.6	126,946	11.5
(資本の部)						
資本金	552,200	53.2	491,000	56.1	552,200	50.1
資本剰余金						
1. 資本準備金	538,840		451,000		538,840	
資本剰余金合計	538,840	52.0	451,000	51.5	538,840	48.9
利益剰余金						
1. 第1四半期(当期)未処理損失	122,712		133,276		115,946	
利益剰余金合計	122,712	11.8	133,276	15.2	115,946	10.5
資本合計	968,327	93.4	808,723	92.4	975,093	88.5
負債資本合計	1,037,240	100.0	875,233	100.0	1,102,040	100.0

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

## (2) 第1四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	当 第 1 四 半 期 会 計 期 間		前 第 1 四 半 期 会 計 期 間		前 事 業 年 度 の 要 約 損 益 計 算 書	
	自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 6 月 30 日		自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 6 月 30 日		自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%		%
売 上 高	147,366	100.0	98,932	100.0	681,746	100.0
売 上 原 価	62,515	42.4	49,653	50.2	243,329	35.7
売 上 総 利 益	84,850	57.6	49,278	49.8	438,416	64.3
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	102,917	69.8	87,264	88.2	388,945	57.1
営 業 利 益 ( 損 失 )	18,066	12.2	37,986	38.4	49,470	7.2
営 業 外 収 益	63	0.0	10	0.0	1,526	0.2
営 業 外 費 用	-	-	-	-	45,947	6.7
経 常 利 益 ( 損 失 )	18,003	12.2	37,976	38.4	5,050	0.7
特 別 利 益	9,107	6.2	-	-	-	-
特 別 損 失	-	-	-	-	949	0.1
税 引 前 第 1 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益 ( 損 失 )	8,895	6.0	37,976	38.4	4,100	0.6
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	572	0.4	572	0.5	2,290	0.3
法 人 税 等 調 整 額	2,702	1.8	15,266	15.4	7,762	1.1
第 1 四 半 期 ( 当 期 ) 純 損 失	6,766	4.6	23,282	23.5	5,952	0.8
前 期 繰 越 損 失	115,946		109,993		109,993	
第 1 四 半 期 ( 当 期 ) 未 処 理 損 失	122,712		133,276		115,946	

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。